

住んでいる地域のあるべき姿と現況のギャップが「解決策＝政策」！

政策学習会

連合群馬政策アドバイザー
小竹先生に指導いただきました▶



▲論議結果をプレゼン
▶持ち寄った課題を仕分け



3月27日、群馬県勤労福祉センターにて「政策学習会」を開催しました。この学習会は、連合群馬が掲げた第16期基本目標、『より良い職場、より良い社会をめざして「組織力」「政策力」「発信力」の更なる強化』の具現化のひとつとして初めて企画しました。

政策アドバイザーの小竹群馬大学准教授の指導のもと、構成産別・地協の政策担当者20名が参加し、「課題とは何か？どう整理するのか？KJ法(*)を用いた課題抽出作業」など、地域の政策制度立案に向けて、問題の見つけ方のコツから具体的に課題にしていく手法を学びました。

KJ法を活用したグループ演習では、それぞれが付箋に書き出した課題をメンバーに説明し、最重要課題を決める。課題発掘のヒントとなり、より良い社会づくりに活かしていただきたいと思います。

* KJ法…多くのデータを整理し、問題解決策を導き出す手法のひとつ

生活改善を目指して2018トータルライフアップ学習会開催

連合群馬各地協は、雇用・労働条件・生活など幅広い視点でトータルライフアップ（総合生活改善）の取り組みを目的とした学習会を開催しています。

桐生地協は、2月23日に桐生市勤労福祉会館で組合員など62名が参加する中で、①無期転換ルールの取り組み（連合群馬）、②講演「組織力強化、活力ある組織力作り」（桐生第一高校ラグビー部 霜村監督）、③春闘地場の取り組み（正田製作所労組 坂井委員長）について開催されました。

また、高崎地協では、2月4日に高崎市労使会館で組合員や一般市民など220名が参加し、①政策活動報告「もっと住みやすい街づくりを目指して」（小板橋高崎地協事務局長）②講演「命の食事 ～大切な人をガンから守るために今できること～」（医学博士・ナグモクリニック 南雲総院長）を開催しました。

地域性を活かした
取り組みだね



◀「春闘の取り組み」を
報告
坂井委員長



◀地元で活躍する
霜村監督



▲地協の政策提言について説明
小板橋高崎地協事務局長

◀会場を大勢で埋め尽くす

“ふれフェス” 連合ブース コレです！

連合群馬ふれあいフェスティバルは「組織力・発信力が地域の活力」をテーマに5月13・20・27日の3日間・8会場で実施します

▼働いている方！簡単なアンケートに答えて

“子どもが大好きなもの” 各会場先着100名様に差し上げます！



今から登録もOK

▼連合群馬フェイスブックの「いいね！」のスマホ画面を見せると

これまた子どもに人気（ジワジワ？）なもの
各会場先着100名様に差し上げます！
また応募用紙で、だれでも知っているテーマパーク
チケットが当たるよ！



◆◆◆◆◆詳しくは各会場のチラシで。近日HP公開！◆◆◆◆◆

全会場統一
☆特別企画☆
やるよ♪



NEWS
連合をPRする取り組み準備中



連合群馬フェイスブック QRコード